



住民の高い意識が地域を支える

- ・地域の住民が“自分たちの足”を確保し育てるために、地域の課題を共有し、地域を支える高い意識を持って、手作りの地域モビリティを運営していくことは重要である。

知恵袋（その11）

地域住民・企業の負担・運営で、協力して支える地域の交通

～クローバーバス～（新潟県長岡市）

- ・対象地域のほぼ全世帯がNPO法人の会員になり、会費（5,000円/年）を負担することで、利用者のニーズに応じて定時定路線型とデマンド型のバスを運営。
- ・バス運行にあたっては、原則地域企業の力を活用するとともに、運転手の地域内雇用を進めている。

震災による路線バスの廃止がきっかけ

- ・新潟県山古志村（現：長岡市）は、新潟中越地震による大きな被害を受け、住民が村を離れ人口が減少したこともあり、それまであった路線バスが廃止されることになり、地域の足を確保することが重要な課題となった。
- ・この地域は、従来から郷土愛が強い地域であり、地域の地元企業による運行の機運が盛り上がり、NPOによる運行を行うこととなった。

NPO法人による運営

- ・NPO法人中越防災フロンティアは、中越地震を契機に発足した組織で、中越地震の被災地住民の生活再建を支援するとともに、被災地域の総合的な防災力の向上を目的として活動している。

- ・NPOには全世帯の97%が会員となっており、会費（5,000円/年）によりクローバーバスの運営経費の一部をまかなっている。（他の財源は、震災復興基金、市からの補助）NPO法人は安全管理、バスを使った新規事業の開発、会費の管理など総括管理を行っている。

バスの運行は地元企業が協力

- ・一方、クローバーバスは、原則地域内企業の力を活用するとともに、運転手の地域内雇用を進めており、バスの運行は、地元企業の協力（バス運行、車両の保守点検、デマンド予約対応など）のもとで安全性・安定性を確保している。

フレキシブルな運行が好評

- ・地元の人がドライバーでもあり、時には画一的な路線ではなく、自宅近くまで送迎するなど、フレキシブルな対応をすることもあり、住民に好評である。



図 3-15 クローバーバスの理念
（出典）クローバーバスパンフレット

- ・ 運行開始後は、バスを使わない人からも取組みに対する高い評価を得ている。その意見の主なものは、「バス路線廃止の問題は地域全体の問題」、「バスは乗らないけど地域のために必要」、「高齢化で自分で車が運転できなくなったための必要」などである。
- ・ 今後は運行開始後、最大5年（2013年）を目処に、NPO法人から地域住民主体の組織に運営を引き継ぐ予定となっている。

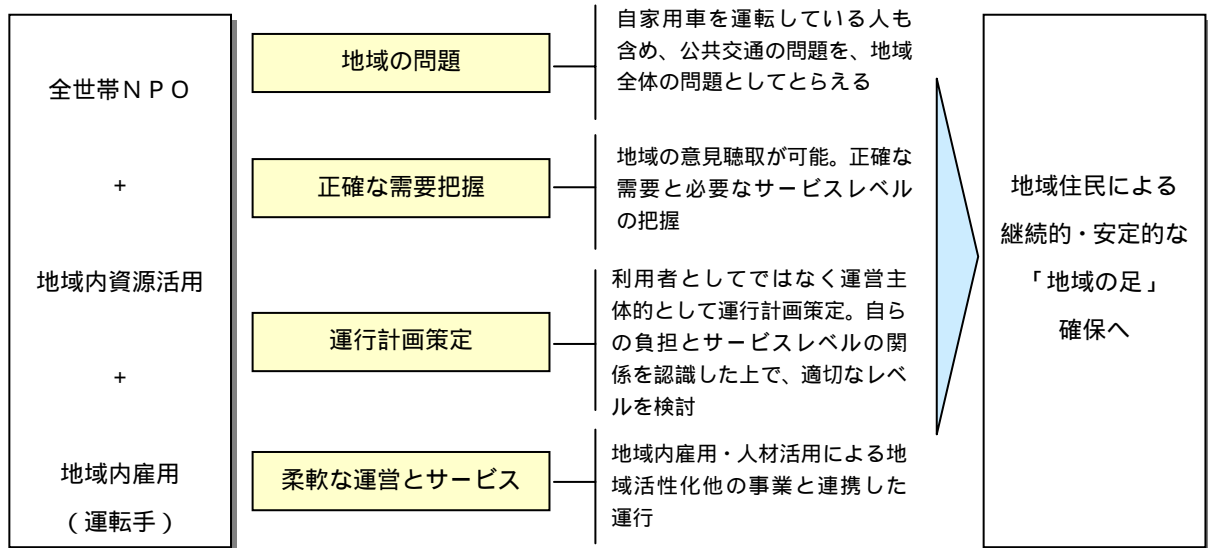


図 3-16 地域全員参加の仕組み

(出典) クローバーバス事業計画 平成20年度版 (NPO法人中越防災フロンティア)

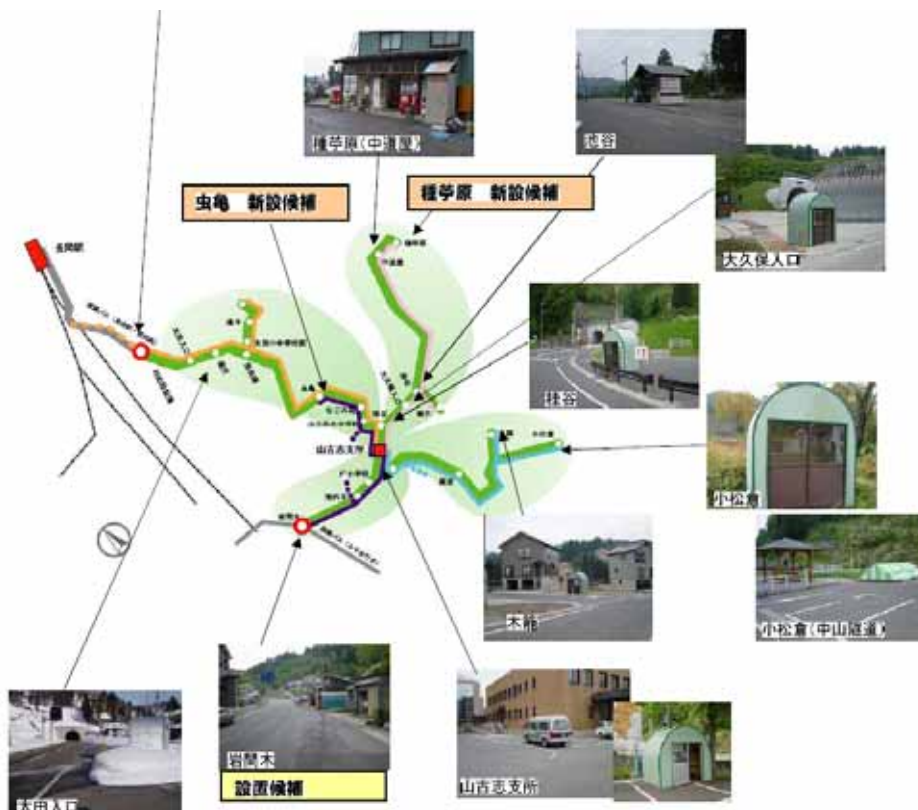


図 3-17 クローバーバス路線と主要地点の風景

(出典) クローバーバス事業計画 平成20年度版 (NPO法人中越防災フロンティア)